

まるごとこどもGoToプロジェクト

～こども一人ひとりにあつたきめ細やかな対応の実現を目指す～

プロジェクトの背景：現状と対策の重要性

こどもまるごとGoToプロジェクトとは？

こどもやその周りの人をまるごと（○）包み込み、こどもにとってのよりよい未来につなげる（GoTo）取組です。

不登校児童の割合や発達に課題があるこどもの人数、児童虐待の件数が全国的に増えており、田原本町も例外ではありません（下記参照）。また、これらに限らず困難を抱えている家庭が増えています。

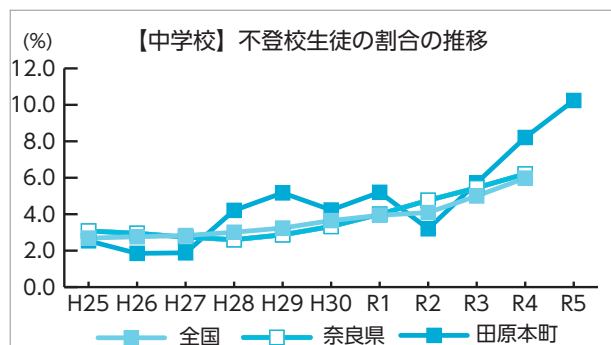
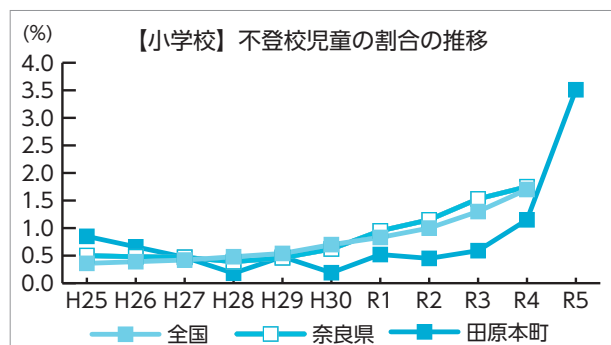
この状況を踏まえ、こども・家庭を支えていきたいという思いから、さまざまな施策を実施し、現在もさまざまな施策を実施しておりますが更に拡充し、こども一人ひとりにあつたきめ細やかな対応につなげていきます。

基本的な方向性

- ① 全ての子育て世帯に対し、福祉と保健の相談支援を一体的に行う
- ② 登校の状況にかかわらず、学びや居場所を確保できる支援や体制を準備する
- ③ 学校のハード整備を含め、こどもたちにストレスなく通ってもらえる環境を整備する

困難を抱えているこどもや家庭が増加しています

不登校児童・生徒の増加

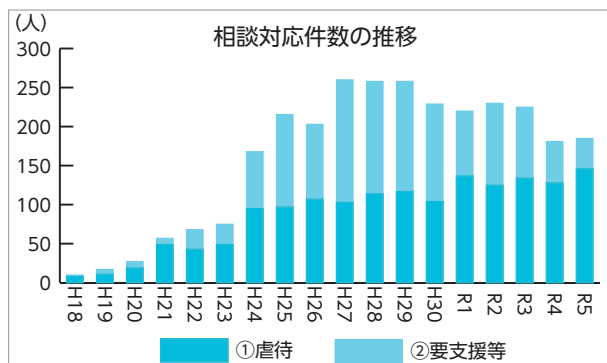


発達に課題があるこどもの増加

障害児通所支援の見込み量

項目	単位	R6年度	R7年度	R8年度
児童発達支援	人日/月	911	1102	1333
	人/月	130	157	190
放課後等デイサービス	人日/月	1649	1995	2413
	人/月	164	198	240

児童虐待の増加



取り組んでいく施策（第一弾）

3つの具体策

プロジェクトの第一弾として3つの事業に取り組みます。町の状況を踏まえ、今後もさまざまな施策を実施していく予定です。

こども家庭センターの設置

（母子保健・児童福祉の一体的実施）

- サポートプラン作成
支援を必要としている人に専門職が積極的にプランを作成
→ 支援員の配置
- 相談支援システムの導入
乳幼児期から学童期へ切れ目のない支援と情報の一元化

学校快適化プロジェクト

〈トイレ・エアコン〉

- 学校トイレ改修
 - ▶ 田原本小学校（低学年教室及び特別支援教室周辺）9基設置【洋式】
 - ▶ 南小学校と平野小学校【洋式化・乾式化の設計】
- 今後 南・平野小学校について、次年度以降4年に分けて、使用頻度の高いところを重点的にトイレの洋式化・乾式化及び特別教室へのエアコン整備

こども・家庭への支援

- スクールソーシャルワーカー（SSW）を配置
児童・生徒の抱える問題を環境面から相談・支援・他機関との連携・学校との情報共有（併せて、不登校対策を一元的に実施するため、生涯教育課で実施している相談援助事業の主管課を教育総務課へ所管替え）
- 小学校にスクールカウンセラー（SC）を配置
5小学校を巡回し、児童・保護者のカウンセリングを行う
- 校内サポートルームに支援員を配置
学校に登校できるが教室に入れない生徒を見守る（田原本中学校）
- 幼稚園年少給食提供改定（令和6年9月から）
年少児の給食を週3回から週4回に増加
- 特別支援教育をサポートする教育ソフトを試験的導入
子どもたちの実態に合わせた個別の教育支援計画・指導計画の作成や個別最適な教材作成をサポートする教育ソフトを、田原本小学校・南小学校・平野小学校・田原本中学校に試験的に導入

その他、現在行っている主な子育て支援施策

	妊娠期	出生～就学前					小学生・中学生	高校生～
年齢（歳児）	0	1	2	3	4	5	6～14	15～18
助成	● 妊婦健診・妊婦歯科健診・産婦健診補助							
	● 出産・子育て応援給付金							
	● 出産祝い品				● 給食費（副食費）無償化			
	● 新生児聴覚検査費助成				● 町立幼稚園の預かり保育無償化（対象者のみ）			
支援	● 第2子保育料の無償化					● 就学援助費		
	● 延長保育料の一部助成							
	● タワラモトタクシー（タクシー初乗り運賃助成）							
交流	● 育児支援ヘルパー派遣事業						● 学習支援事業	
	● 産後ケア事業							
預ける	● ブックスタート支援事業							
	● パパママ教室							
	● 赤ちゃん体操教室							
預ける	● あそびの教室						● 学童保育サッカー教室	
	● 子育てひろば・はぴすまひろば							
	● ファミリーサポートセンター事業							
預ける	● 病児・病後児保育							
	● ショートステイ・トワイライトステイ							